

|                              |       |
|------------------------------|-------|
| 第11期中野区健康福祉審議会               | 資料3-2 |
| 第3回スポーツ・健康づくり部会（2026/6/19開催） |       |

## 区のデータ分析や健診等による健康づくりの支援について

### 1 国の目標

国は2019年に「健康寿命延伸プラン」を策定し、2040年までに健康寿命を男女ともに3年以上延伸し、75歳以上とすることを目指しており、「行動変容を促す仕掛け（行動経済学の仕組み、インセンティブ）」など新たな手法も活用した取組を進めることとされている。

また健康日本21（第3次）においては、健康寿命の延伸と健康格差の縮小を基本的な方向の一つとし、がん検診受診率について令和10年度の目標値を60%としている。

特定健康診査については、「特定健康診査及び特定保健指導の適切かつ有効な実施を図るための基本的な指針」において、令和11年度の実施率を60%以上にすることを目標としている。

### 2 国・都の現状

健康日本21（第2次）最終評価において、いずれのがん検診の受診率も増加傾向であるものの、一部検診を除き目標の50%に到達していない。

東京都健康推進プラン21（第2次）最終評価において、都民のがん検診受診率は30%台となっており、更なる取組の推進の必要性があるとしている。

特定健康診査については、令和5年度の全国受診率は38.2%となっている。

国のデータヘルス計画作成の手引きでは、基本分析、健康課題の抽出、保健事業の実施計画、事業報告等について盛り込むこととされている。

### 3 区の現状

区民健診受診率は全体的に見ると横ばいとなっている。（資料3-3）

### 4 現在の区における取組内容

区民健診の受診勧奨、普及啓発活動、データヘルスに係る取組については資料のとおり。（資料3-4、3-5）

### 5 審議していただきたい内容

○効果的な受診勧奨や受診率向上に向けてどのような取組を進めたらよいか。

○データヘルス事業のより効果的な実施に向けどのような取組を進めたらよいか。